

核兵器完全禁止・安保安全廃止の声を政府に連れて！京都の非核地帯化を求める

6・23全京大集会

(12時(時計台前)~)

⑥なお燃え上がる核兵器廃絶の声
昨年の秋以来欧洲に端を発した反核デモは、未だがつてない盛り上がりを見せています。五・三三東京行動に四〇万人、六月十日ボンで四五万人、そして六月十二日には、SSD IIが開かれているニューヨークで一〇〇万人の反核平和集会が行われました。

⑤京大生協のとりくみ

京大生協ではこの間「よりよい生活と平和のために」というスローガンのもと、積極的に平和と民主主義を守る運動にとりくんでいます。一回生を中心にクラスでの「にんげんきがえせ」の上映運動、平和についての学習・討論がすすめられ、28クラス・34回の組合員會議が開かれています。「核兵器の完全禁止と軍縮を要請する署名」は、二五七九名、SSD II代表派遣カンパは約六〇万円が集められました。

こうしたとりくみを受けて、SSD IIに参加してきいた京大生協代表の田中貞美君(24)が、今一番ホットなニューヨークの模様を、この集会で報告します。

④非核三原則と安保条約

核兵器と日米安保条約の関係を考えてみましょう。日本は国是として、非核三原則を持つています。その一方でアメリカの核のカサの下にあり、日本の平和を維持しうるという前提に立つ安保条約を結んでいます。アメリカに対し核で守って下さい、しかし核の持ち込みは困りますよ、という理屈が通るはずはありません。こういう意味で、日米安保条約と非核三原則が矛盾することは明らかです。

③この集会を出発として

六月二三日は、一九六〇年、新安保条約が締結された日です。この集会に参加して、これまでの平和運動のとりくみを交流しあり、今後の原水禁世界大会へ向けた運動、さらには、軍拡を撲滅する臨調路線について学習するステップにしましょう。

田中さだみの

(京大生協代表)

SSD II報告

(第2回国連軍縮特別総会)

こううの
京大生協